

### 令和4年度事業計画書

外国人留学生並びに国内学生に対する奨学金給付事業を行う

(1) 令和4年度奨学生35名に対し、奨学金を給付する。

外国人留学生

新規	学部生1名	大学院生6名	計 7名
継続	学部生3名	大学院生3名	計 6名
			合計13名

国内学生

新規	学部生15名	計15名
継続	学部生 7名	計 7名
		合計22名

給付する奨学金は次の通り (合計金額 1512万円/年)

外国人留学生	$60万 \times 11名 + 30万 \times 2名 = 720万円$
国内学生	$36万 \times 22名 = 792万円$

(2) 2023年度(令和5年度)の奨学生募集を行う

募集規模、予算の見通しを、本年5月頃の決算理事会で議決する。

2023年度(令和5年度)についても、引き続き国内学生に対する奨学給付事業の充実を図る。

2023年度(令和5年度) 奨学生の募集日程は、以下の通りとする。

募集案内	2022年7月頃に大学窓口に発送予定
書類選考	11月頃
面接選考	11月頃

令和4年度交流会の開催 10月頃の予定

新型コロナウイルスの状況を踏まえた計画とするが、詳細については事務局で立案し、理事長が決定する。

財団の広報活動を行う

(1) 広報誌「かけはし」14号の発刊 (来年1月頃)

(2) ホームページの定期的な変更[令和3年度の決算確定後を予定]

以上

# 令和4年度 収 支 予 算 書(正味財産増減ベース)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

公益財団法人 藤井国際奨学財団

単位(円)

科 目	今年度予算額	前年度予算	増 減	備 考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
受取利息	0	0	0	
受取配当金等振替額	17,720,000	17,555,965	164,035	
② 特定資産運用益				
受取利息	238,000	270,000	△ 32,000	
③ 一般財産運用益				
受取利息	0	0	0	
<b>経常収益計</b>	<b>17,958,000</b>	<b>17,825,965</b>	<b>132,035</b>	
(2) 経常費用				
① 事業費				
奨学金支給支出	15,120,000	15,120,000	0	
奨学生旅費交通費	150,000	150,000	0	
研修・交流会費	450,000	450,000	0	
機関誌作成費用	20,000	10,000	10,000	
給料手当	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
支払家賃	264,000	264,000	0	
運搬通信費	190,000	190,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	70,000	100,000	△ 30,000	
消耗品費	50,000	50,000	0	
事業諸謝金	370,000	330,000	40,000	
雑費	100,000	100,000	0	
小 計	16,834,000	16,814,000	20,000	
② 管理費				
会議費	90,000	130,000	△ 40,000	
旅費交通費	80,000	80,000	0	
給料手当	0	0	0	
福利厚生費	20,000	30,000	△ 10,000	
公租公課	10,000	10,000	0	
消耗什器備品費	70,000	70,000	0	
図書費	30,000	30,000	0	
諸謝金	70,000	90,000	△ 20,000	
顧問料	660,000	660,000	0	
雑費	150,000	150,000	0	
小 計	1,180,000	1,250,000	△ 70,000	
<b>経常費用計</b>	<b>18,014,000</b>	<b>18,064,000</b>	<b>△ 50,000</b>	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 56,000</b>	<b>△ 238,035</b>	<b>182,035</b>	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 56,000</b>	<b>△ 238,035</b>	<b>182,035</b>	
一般正味財産期首残高	304,414,303	304,381,285	33,018	
一般正味財産期末残高	304,358,303	304,143,250	215,053	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益				
受取利息				
受取配当金	13,520,000	11,830,000	1,690,000	
基本財産評価損益等				
基本財産評価損益				
一般正味財産への振替額	△ 17,720,000	△ 17,555,965	△ 164,035	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 4,200,000</b>	<b>△ 5,725,965</b>	<b>1,525,965</b>	
指定正味財産期首残高	1,318,901,935	1,369,601,935	△ 50,700,000	
指定正味財産期末残高	1,314,701,935	1,363,875,970	△ 49,174,035	
III 正味財産期末残高	1,619,060,238	1,668,019,220	△ 48,958,982	

# 令和4年度 収支予算書内訳(正味財産増減ベース)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

公益財団法人 藤井国際奨学財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計予算額	備 考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
受取利息	0	0	0	
受取配当金等振替額	16,302,400	1,417,600	17,720,000	
② 特定資産運用益				
受取利息	218,960	19,040	238,000	
③ 一般財産運用益				
受取利息	0	0	0	
<b>経常収益計</b>	<b>16,521,360</b>	<b>1,436,640</b>	<b>17,958,000</b>	
(2) 経常費用				
① 事業費				
奨学金支給支出	15,120,000		15,120,000	
奨学生旅費交通費	150,000		150,000	
研修・交流会費	450,000		450,000	
機関誌作成費用	20,000		20,000	
給料手当	0		0	
福利厚生費	0		0	
支払家賃	264,000		264,000	
運搬通信費	190,000		190,000	
会議費	50,000		50,000	
旅費交通費	70,000		70,000	
消耗品費	50,000		50,000	
事業諸謝金	370,000		370,000	
雑費	100,000		100,000	
② 管理費				
会議費		90,000	90,000	
旅費交通費		80,000	80,000	
給料手当		0	0	
福利厚生費		20,000	20,000	
公租公課		10,000	10,000	
消耗什器備品費		70,000	70,000	
図書費		30,000	30,000	
諸謝金		70,000	70,000	
顧問料		660,000	660,000	
雑費		150,000	150,000	
<b>経常費用計</b>	<b>16,834,000</b>	<b>1,180,000</b>	<b>18,014,000</b>	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等			0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 312,640	256,640	△ 56,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 312,640	256,640	△ 56,000	
一般正味財産期首残高	274,339,445	30,074,858	304,414,303	
一般正味財産期末残高	274,026,805	30,331,498	304,358,303	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益				
受取利息				
受取配当金	12,438,400	1,081,600	13,520,000	
基本財産評価損益等				
基本財産評価損益				
一般正味財産への振替額	△ 16,302,400	△ 1,417,600	△ 17,720,000	
当期指定正味増減額	△ 3,864,000	△ 336,000	△ 4,200,000	
指定正味財産期首残高	1,167,181,892	151,720,043	1,318,901,935	
指定正味財産期末残高	1,163,317,892	151,384,043	1,314,701,935	
III 正味財産期末残高	1,437,344,697	181,715,541	1,619,060,238	

# 資金調達、設備投資の見込みについて

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし